

ベーゼンドルファーで奏でるバッハ



高橋 望によるバッハの世界

ゴルトベルク変奏曲

喜び、哀しみ、嘆き、祈り



2022年

1月22日 [土] 午後2時開演 午後1時15分開場
午後3時30分終演予定

※開演時間を過ぎますと、ご入場できない場合がございます

浜離宮朝日ホール 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

ゴルトベルク変奏曲の
勉強会を開催します♪



1月8日 (土)

詳しくは
裏面をご覧ください

[チケット] 一般 4,000円 / 学生 1,000円 全自由席

[プレイガイド] 朝日ホール・チケットセンター TEL 03-3267-9990 / チケットぴあ Pコード : 201380 <http://t.pia.jp/>
イープラス <http://eplus.jp/> / ミリオンチケット TEL 03-3501-5638 <http://millionconcert.co.jp/>

[主催] クラシックに親しむ会 [後援] パルマタイの会 / (株) B-techJapan

[コンサートマネージメント] ミリオンコンサート協会 TEL 03-3501-5638

高橋 望 (Nozomu Takahashi) 秩父市出身。ドレスデン国立音楽大学にてペーター・レーゼルに師事。国家演奏家資格試験を最優秀で修了、同大学院マイスタークラス修了。ゴルトベルク変奏曲をライフワークとし、毎年同曲でリサイタルを行い「音楽の友」「音楽現代」などで好評を博す。2022年で9回目となる。2015年に行った同曲のライブCDがレコード芸術準特選盤となる。2018年の平均律クラヴィア曲集第1巻がレコード芸術特選盤となる。最新盤は、パルティータ第1,2&4番。



(C) Yesuhiro Sakurai

高橋 望は考える音楽家であり、同時にまた感じる音楽家である。彼の弾く《ゴルトベルク変奏曲》のCDを聴いてそう思った。音楽という芸術、とりわけ演奏芸術においては、知性と感性のほどよいバランスが必要だが、これが存外難しい。特にJ.S.バッハの音楽を演奏するにはこのことが肝要で、感じるがままに弾いた演奏はわざとらしくなるし、反対に、まるで研究発表のように堅い演奏もまた退屈なものだ。高橋の演奏は、そのバランスにおいてすぐれている。 ■樋口隆一（音楽学者、指揮者）

高橋望はドレスデン国立音楽大学で学び、国内外のコンクールで入賞、師である名ピアニストのペーター・レーゼン譲りの知的なアプローチと職人気質の表現力は、近年ますます奥深くなっている。高橋がライフワークとして2014年から開催しているJ・S・バッハ《ゴルトベルク変奏曲》公演だが、今年の「ゴルトベルク」には釘づけになった。まずテーマは完璧な拍感とテンポ感。聴き手の脈拍にピタリとはまる。だからといって機械的で無機質なのではなく、自然界に委ねるような崇高さ。それでいて温かく「今年はどうしてみよう」と新しく構築された感の、以降の変奏。

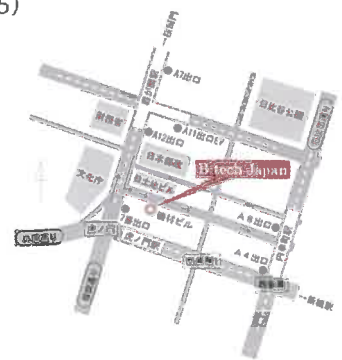
（音楽の友2021年3月号 上田弘子氏）

毎年演奏してきたゴルトベルクは今年で8回目、さすがに手慣れている。右手と左手が交差するアレグロ変奏でも緊張感はなく、高速カノンのラインは強弱によらず質感を変化させる余裕。速いパッセージもレガートに、フゲッタの変奏は気づかれないほどに力感を増していく。装飾音は主旋律と同系色のアクセサリィのようにお洒落だし、スタカートも木琴とか鉄琴を模した屈託ない表情。それでいて発想・創意が繋がりがあっていなのだ。さらに感銘を受けたのはアンダンテの変奏。歌おうとせず、鍵盤を手当てするように個々の音を運べる。（中略）根源的な苦悩に迫っていきながら、清々しい余韻を残し、最初無心で入っていたアリアが最後確信に聞こえた。高橋望のゴルトベルクは聴く者の眠りを誘うでなく、妨げるでなく、聴く者を覚醒させる。

（音楽現代2021年3月号 高塚昌彦氏）

《ゴルトベルク変奏曲の勉強会を開催します》

- [日時] 2022年1月8日（土） 第1部：午前11時～正午、第2部：午後2時～3時、第3部：午後4時～5時 ※各回とも同じ内容です
- [ところ] (株) B-techJapanスタジオ（港区虎ノ門1-1-3 磯村ビル1階 TEL 03-6205-4005）
- [出演] 高橋 望（お話、一部演奏）
- [内容] リサイタルに先立ち、バッハについて、ゴルトベルク変奏曲について、楽譜を読めない方にも分かりやすくお話しします
- [定員] 各回 9名（要予約、お早めにお申し込みください）
- [参加費] 500円、当日受付にてお支払いください
- [対象] 1月22日ゴルトベルク変奏曲2022のリサイタルのチケットをお持ちの方
※勉強会当日にチケットをご持参ください。勉強会当日にチケットの購入もできます
- [勉強会の参加申し込み先] ミリオンコンサート協会 TEL 03-3501-5638



CD&チケット販売サイト Nozomu Takahashi Online →



ゴルトベルク変奏曲 —レコード芸術準特選盤—

《現代ピアノにおいて可能な表情性をはっきり意識し活用している。美しい音楽を聴いているという実感が常にある。》（濱田滋郎氏）



パルティータ第1, 2, 4番

《音と音の繋ぎにある潤い、ふとした瞬間の明暗のコントラストからはピアノで弾く、聴くバッハの喜びがあふれ、学問的配慮にこだわりすぎて小さい音楽になる事態からサラッと逃れている》（中川直氏）

■新型コロナウイルス感染症拡大防止にむけたお客様へのお願い

- ・会場の換気に努め、感染対策を施して開催いたします。
- ・感染症状のある方、37.5℃以上の熱のある方はご入場いただけません。
- ・必ずマスクを着用してご来会ください。マスク着用なき場合はご入場いただけません。
- ・万が一の二次感染に備えて、ご連絡先をお伺いする場合がございます。
- ・終演後のご面会、プレゼントのお渡し、主催へのお預けは御遠慮願います。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により公演が延期、中止となる場合がございます。中止の場合は、ホール及びミリオンコンサート協会のホームページで発表いたします。

★開催日の感染状況によって、感染症予防対策の水準が変わる可能性があります。今後の感染状況によっての変更等につきましては何卒ご了承ください。